



# NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>



7月、日本各地で記録的な豪雨が降り、多くの人命が失われ、土砂崩れや田畑の水没で大きな被害が出ました。ニュースでは毎日のように「記録的短時間大雨情報」「今までに経験をしたことのない大雨」「安全な場所に避難」などの声が聞かれました。

7月4日、梅雨前線が停滞した北陸周辺では、72時間雨量が7月、1ヶ月分近く降った地域もあり、浸水被害が多数報告されました。

7月5日から6日にかけては、九州北部の集中豪雨で死者、行方不明者が40人を越え、「平成29年7月九州北部豪雨」と命名されました。24日から25日にかけても秋田を中心に東北地方で梅雨末期の大雨が降りました。

ここ東海地方でも、「記録的短時間大雨情報」が14日発表され、犬山市と小牧市で1時間に約120ミリの大雨を観測、五条川があふれ、広範囲で浸水するなどの浸水被害が出ました。

また、北海道十勝地方では7月14日に36・2度の猛暑日を観測したほか、全国各地で8月を前に35.0℃を超える猛暑日が観測されています。

「大雨と猛暑」が異常気象であれば何十年もつづくことはないでしょう。しかし、地球温暖化による地球規模の気候変動だとしたら「異常気象」とは言えなくなります。

春夏秋冬、四季の移ろいを風で、肌で感じることができなくなり、ニュース番組から聞こえてくる「暦の上では・・・」という声が虚しく聞こえる日が近いのかもしれない。

何はともあれ、8月は日本各地の”夏祭り”がつつがなく催され、多くの子供たちが心ゆくまで夏休みを楽しめる、ひと月であって欲しいと思いを願うばかりです。

**シブヤの庭・8月**

裏庭に大輪の百合が咲き、甘い香りを漂わせています。工務課に長年努めた、荒川さんが植えたものです。シブヤの庭には植物が好きだった方々を思い出させる草木が沢山あります。

## 【ISO揭示板】

7月19日(水)、29日(土)の2日間、2015年版「品質・環境マネジメントシステム講習会」をハタコンサルタント株式会社から講師を招き、第3・4回の講習が開催されました。

2015年規格の重要ポイント、留意点をはじめ、内部監査への準備、心構え、質問の仕方まで解りやすく講義していただきました。

内部監査員に任命された方は講義内容を参考にしてチェックリストの準備をお願いします。

### 【内部監査日程】

被監査部門	予定日	時間	監査リーダー	監査員
静岡支店	8月22日	10:00~	脇田 恵	吉津 敏幸
浜松支店	8月30日	10:00~	李 永平	杉浦 亮二
岐阜支店	8月23日	10:00~	木村 恒嘉	中村 美暢
三河営業所	8月24日	13:30~	甲 和之	今井 智恵子
管理責任者	8月24日	9:00~	高橋 智一	三宅 勇介
技術部	8月23日	9:00~	玉田 康弘	高田 友紀子
営業企画部	8月31日	14:00~	渡邊 敦洋	久米 隼人
総務・財務・管理	8月30日	10:00~	竹内 寿	北川 美由紀
小牧事業所	8月21日	13:00~	杉山 貴英	桑原 孝悟

※ 詳細日程は監査リーダーと被監査部門で打合せください。

### 【外部審査日程】

審査日程	2016年10月25日 ~ 10月27日 (3日間)	
審査種別	ISO14001・9001統合審査, 更新審査	
チームリーダー	伊東 域坦	
審査員	宇都宮 透	小島 恒夫

※ 詳細日程は決定しだい連絡します。



### 【今後のISO日程】

★内部監査・外部審査の日程の関係で、73期「年間改善活動計画書」の中間評価の提出が8月18日(金)となります。ご協力をお願いします。

年間改善活動計画書 中間評価提出	内部監査の関係で 8/18まで
内部監査	8月21日(月) ~ 9月1日(金)
内部監査チームリーダー会議	9月11日(月) 13時00分~
マネジメントレビュー	9月19日 15時00分~
目標カード 中間評価提出	9月末 まで
外部審査: 更新審査	10月25日~10月27日 (3日間)
社長面談: (目標カード 前期分による)	10月頃から予定
年間改善活動計画書・後期提出	10月末まで
目標カード 後期提出	10月末まで

## 《異常気象は地球規模》

世界気象機関(WMO)は観測史上最も暑い年になった2016年つづき、今年も温暖化ガス濃度や海面水温の上昇など地球温暖化の進行が原因の熱波や大雨などの異常気象が多発する恐れがあると発表した。

17年も全体的な地球温暖化傾向に変化はないとみられるとした。その理由として今冬に少なくとも3度、北極圏で高温を観測し海の氷が溶解したとみられるほか、南極の海氷面積も減少しており、世界中の気象に影響を与えていると分析。

WMO当局者は「われわれの理解を超えた地球の驚くべき変化を目にしつつある。まさに未知の領域にいる」と強調している。また17年に入り既に異常気象が見られ始めていると指摘。カナダや米国の大半で異例の穏やかな冬となったのに対し、アラビア半島や北アフリカでは逆に厳しい冬になったとした。(2017.3.21日本経済新聞より)

7月の日本の豪雨、猛暑を目の当たりにして、日本経済新聞の記事が「真実だ」と感じるのは私だけではないでしょう。パリ協定を離脱し、アメリカンファーストを宣言するトランプ大統領の無責任さには呆れるばかりです。

私たちが出来ることは僅かです。しかし、世界の人々が同じ方向を向くとき、住みよい地球が戻ってくることを信じましょう。